

SONY

ステレオ

カセットデッキ

総合カタログ

1986・10月現在

ステレオ・カセットデッキ・ホットインフォメーション

SONY STEREO CASSETTE DECK・HOT INFORMATION

TC-K555ESX/TC-K777ESⅡ/TC-K333ES/TC-K555ESⅡ/TC-WR950/TC-WR730/TC-WR930/TC-R502/TC-R302



ただ音をトレースするだけではなく、音楽が演奏されている会場の空気感までも再現したい。
リスナーが使いやすさを実感できる、ほんとうの意味の高度な操作性を獲得したい。
そのために、デジタルオーディオ時代のデッキのあり方を本質から問い直しました。
音質に、機能に、ハイポテンシャルなクオリティをもつソニーの新世代カセットデッキ・ラインアップ。
そのひとつひとつに、音楽へのはかり知れない情熱が結晶しています。
磁気記録の歴史に新しい1ページを。ソニーは、デッキの理想像に向けて、さらに前進しました。

デジタル時代の新しいリファレンスとしての理想像を求めて、 音質向上の可能性を根本から問い直し、 新たな発想でアプローチした次世代のESデッキです。

CD全盛時代を迎えようとしている今、そして、これからのカセットデッキのあるべき姿、理想形を求める。

K555ESXの開発にあたって、ソニーはこのテーマを具体化するため、すでに常識化した手法、発想を捨て、大胆にアプローチ。不要振動の排除、シンプル&ストレート伝送など、オーディオ機器すべてに通じる基本部分を新たな視点で見直すことから着手したのです。

その結論として生まれたのが、メカデッキと電源部をシャーシ中央に配置し、システムコントロール系とオーディオ回路を左右に分離した、ミッドシップドライブ・システム。結果的に、パネルフェイスも従来のESデッキとはまったく異なるものになりました。

次世代のリファレンス、そして、これからデッキの新しいスタイルを指標して、ドラスティックな変貌を遂げたK555ESX。

しかし、その根底に流れる設計思想は、「デッキの生命はあくまで音質」、このESシリーズ不変のポリシーに他なりません。

ES



新たな発想で、カセットデッキの理想形を追求した ミッドシップドライブ・システム。

K555ESXの内部コンストラクションは、中央にメカデッキと電源部、両サイドにオーディオ回路と操作コントロール系を分離して配置した構成になっています。その狙いは、①内部振動および外部からの振動を断つ剛体構造の実現。②各部の相互干渉の徹底排除。③信号伝送をさらにシンプル&ストレート化する。すなわち、K555ESIIやK777ESIIで得た成果を、オーディオコンポーネント設計の原点を厳しく見つめ直して再構築しようというもの。そのために、新たな発想で、デジタル時代の新しいリファレンス機としての素質を磨き抜いているのです。

■理想的なウェイトバランスと剛体構造

従来、多くのカセットデッキでは、総重量に占める割合の大きいメカデッキと電源部が、シャーシ左右いずれかに片寄った状態で配置されていました。しかし、機器全体を高剛性化して音を汚す不要振動を排除するためには、ウェイトバランスも重要なポイントとなります。K555ESXでは、と

くにこの点に着目。メカデッキおよび電源部を中央に配置した、ミッドシップドライブ・システムを採用する最大の要因となりました。これにより、4個の脚部に均等な重量がかかる理想的なウェイトバランスを実現。しかも、シャーシ内部はメカデッキと電源部を取付けたU字型のインナーシャーシでは3等分されているため、トータルな剛性も格段に向上。また、各回路のプリント基板の取付けスパンを短くできるなど、不要振動の排除に数々のメリットをもたらしています。

■相互干渉を断つレイアウトおよびノループ・サーキット
内部レイアウトは、メカデッキと電源部を中央に、左にシステムコントロール系、右にオーディオ回路を配置し、カウンターを含む走行系の操作部とアンプ系操作部も左右に分離。各ブロック間の相互干渉や共振を大幅に低減できると同時に、電源供給の効率性の面から見てきわめて有利なレイアウトとします。また、電気的にも、オーディオ信号系、コントロール信号系、そして電源系統の3つのブロックのアイソレーションを徹底。各ブロックにまたがるループを追放し、ノイズの発生を極限まで抑えています。

■シンプル&ストレート伝送に徹したオーディオ回路

オーディオ回路は、録音アンプと再生アンプを独立した基板にまとめ、十分に距離をもたせて上下2段に配置。両アンプ間の干渉をより厳密に抑えています。また、録音アンプを下段に配置して、リアパネルの入出力端子とフロントパネルの操作部を直結させるなど、シンプル&ストレート伝送を一段と徹底。さらに、全段L-RツインモノDCアンプ構成として、チャンネル間の干渉を断つなど、ESシリーズ不変の音質最優先の姿勢を細部にまで貫いています。

LC-OFC巻線レーザアモルファスヘッドによる

ソニー独自の独立懸架3ヘッド方式。

コイル巻線にLC-OFCを使用して、一段と完成度を高めたLC-OFC巻線レーザアモルファスヘッド。K555ESXでは、その能力を、独立懸架3ヘッド方式で最大限に引きだしています。これは、録音、再生用それぞれのヘッドに正確なアジマス精度が得られ、しかもヘッドタッチも均一というソニー独自の方式。デジタルソースをはじめ録音ソースのクオリティが高くなるほど、真価を発揮します。

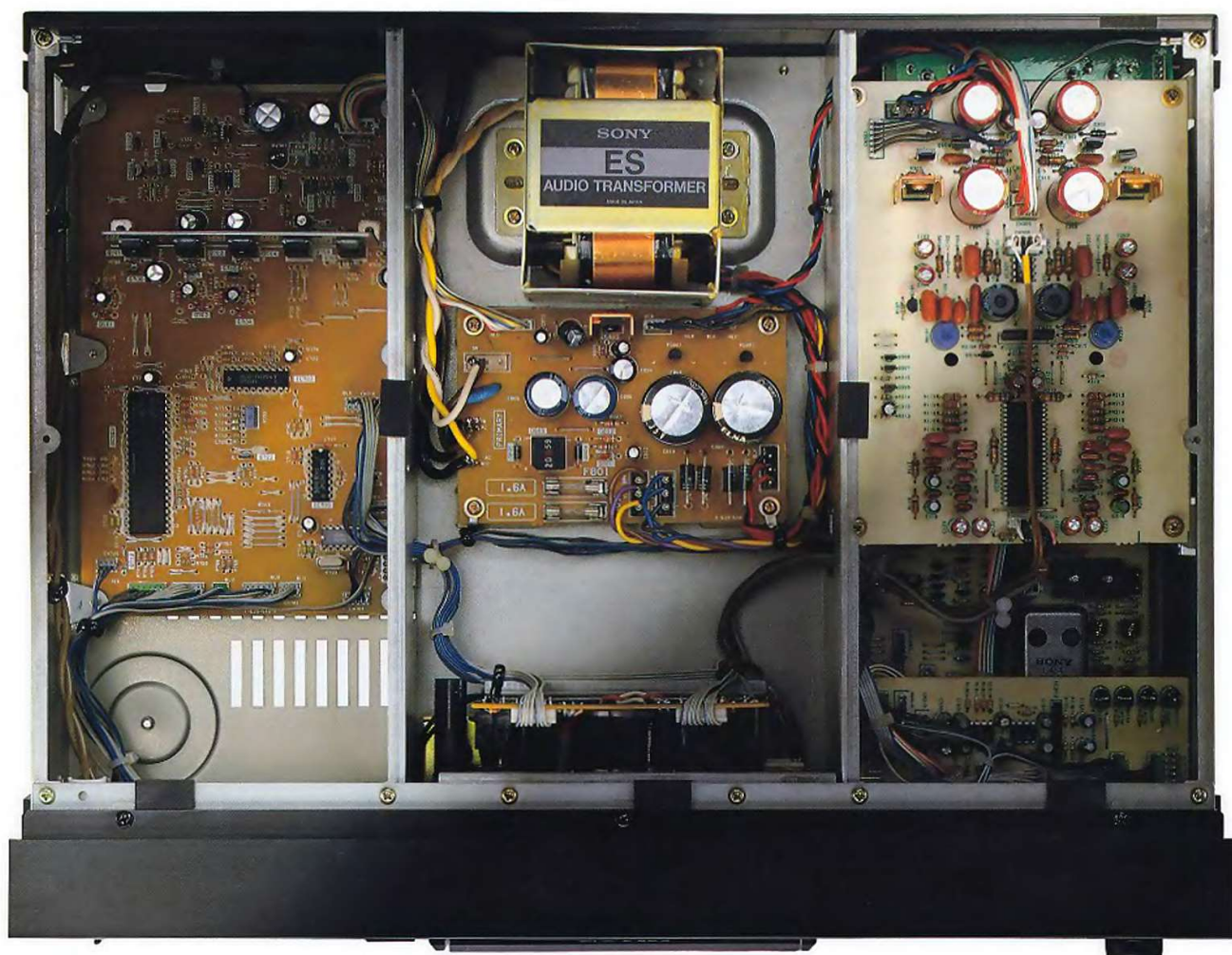
ステレオ・カセットデッキ

TC-K555ESX

¥105,000 (ワイヤレスリモコン RM-99付属) **新製品**

主な仕様 ●ヘッド：消去1、録音1、再生1 ●モーター：リニアトルクBSL D.D.モーター1、DCモーター1 ●SN比：※56dB、60dB(ドルビーOFF、ピークレベル、METALカセット)、73dB(ドルビーNR-Cタイプ) ●周波数特性：※20~20,000Hz±3dB(METALカセット) ●周波数範囲：※15~22,000Hz(METALカセット) ●フック・フラッター：※±0.04%Wpeak、0.025%WRMS ●ひずみ率：※0.5%(METALカセット) ●大きさ：430(幅)×125(高さ)×350(奥行)mm ●重さ：8.9kg ●消費電力：27W

※印は、日本電子機械工業会(EIAJ)規格に定められた測定法による値です。



さらにメカニズム精度を高めたクォーツロックD.D.& クローズドループ・デュアルキャプスタン方式。

オープンリールデッキの技術を、いち早くソニーがカセットデッキに生かしたクローズドループ・デュアルキャプスタン方式。ヘッドを中心に配した2組のキャプスタンとピンチローラーでテープをはさみ込み、走行を安定化させる巧みなシステムです。ワウ・フラッター特性の向上、モジュレーションノイズの低減、常に一定したヘッドタッチの実現など、数々のメリットが得られます。しかも、キャプスタン駆動は、一段となめらかな回転特性が得られる新方式3相リニアトルクBSLモーター採用のダイレクトドライブ方式。さらに、カウンター方式のデジタルサーボ回路によるクォーツロックサーボで、ワウ・フラッター0.025%をクリアする優れた走行特性と高い信頼性を実現しました。

新開発ドルビーIC、大容量電源トランスなど、厳選した高音質パーツを大量投入。

ドルビーNR・B-Cタイプを構成するICには、K777ESII用に開発したドルビーICを採用。ノイズリダクションON時の

音質をきわめてナチュラルにしています。また、電源部にも、K777ESIIの設計思想を継承して、あり余るほどの容量をもつ大型電源トランスを搭載。さらに、信号系の線材にLC-OFCを多用するなど、使用パーツを厳選しています。

テープの能力をフルに引きだせる

バイアスおよび録音レベル・キャリブレーション。

テープの飛躍的な高性能化に迎え、その潜在能力を最大限に引きだす。そのためにK555ESXには、使用テープごとに録音バイアス値を±20%の範囲で微調整できるバイアスキャリブレーション機能、およびテープ感度による録音・再生のレベル差をなくす録音レベルキャリブレーション機能を装備。テープの能力を生かし、ドルビーNRの効果をもフルに発揮させることが可能。また、キャリブレーション時は、レベルメーターが調整モードに切替わります。3ポジションの録音イコライザー切替えスイッチ。

K555ESXは、録音イコライザーの高域特性を、3段階(Low/NORMAL/HIGH)に切替え可能です。同タイプでも微妙に異なるテープの周波数特性に合わせて、録

音特性をより厳密に調整できます。

●ワイヤレスリモコンRM-99付属。録音/再生、早送り/巻戻しなどのテープ走行操作に加え、カウンターのリセット、メモリーもリスニングポジションから行えます。

●従来のカウンター(0.00)での動作に加え、メモリーボタンを押した時点を実動作点とするメモリーストップ/プレイが可能。リセットボタンを押してもこのメモリー点は維持されるため、リニア電子カウンターの減算機能を利用すればテープ途中からの残量時間が確認できるほか、曲の頭を記憶させておくなど、便利なマーカーとして利用できます。

●-40~+8dBのワイドレンジで、ピークホールドとリアルタイムのピーク値を同時表示する多機能ピークプログラムメーター。キャリブレーション時には専用メーターとして動作●TYPE I/II/IV対応のオートテープセレクト●減算機能つきリニア電子カウンター●MPXフィルタースイッチ●オートスペースつきREC MUTE●カセットローディング時のテープのたるみ防止機能●別売タイマーによる連続留守録音/目覚まし再生●出力可変ヘッドホン端子



●キャリブレーション調整時のレベルメーター●U字型インナーシャーシによるセパレート構造図●LC-OFC巻線採用のレーザーアモルファスヘッド●LC-OFC(上)と、通常のOFC(下)の結晶状態●付属のワイヤレスリモコンRM-99

より豊かな「音楽の再現」をテーマに、K777ESをリファイン。 プロ用マスターレコーダーのクオリティをめざした デジタル時代の新しいプレスステージ・デッキです。

1982年秋の発売以来、ハイエンドのオーディオファイルのマスターデッキとして常用されてきたK777ES。
その完成度ゆえに、ソニーにとって、それを超越するデッキの創出は新たな技術的ターゲットとなっていました。

将来のデジタルオーディオの成熟に、より高いポテンシャルをもって応え得るもの。

音楽がもたらす雰囲気、演奏者の情感といった、いわば空気感の再現性を高めた次世代のプレスステージモデル——。

その狙いのもとに、K777ESを細部にわたってリファイン。ここに、マークIIを誕生させたのです。

何よりもご注目いただきたいのが、録音するプログラムソースの機器のクオリティ、キャラクターを鮮明に描き出す能力。
プロ用レコーディングマスターの域に、どれだけ近づき得たか？ そのジャッジは、あなたのご試聴に待ちたいと思います。

ES



オーディオ系、メカニズム系を独立させた強力電源部と、
大幅にシンプル化をはかった回路構成。

K777ESIIでは、とくに電源部の強化をテーマに徹底した
取り組みを行いました。背面パネルから突きでた2個の大型
電源トランス。この贅沢な装備を核に、オーディオ系、メ
カニズム系のセパレート化をはじめ、各部の電源を独立
専用化。余裕ある電源供給と相互干渉の排除を実現して
います。また、回路構成は、録音・再生フラットアンプを
全段L・Rツインモノ構造のDCアンプとし、ヘッドと再生ア
ンプはダイレクトカップリング。しかも、信号系のリレーを一
掃し、音質劣化要因を極力排除。加えて、キャリブレーション
回路やメーター回路を分離させ、オーディオ部のシ
ンプル&ストレート伝送をさらに徹底。ダイナミックレンジの
拡大とひずみの低減を見事に両立させました。

ヘッドのクオリティをさらに一歩追い込んだ、

LC-OFC巻線レーザーアモルファスヘッドを搭載。

レーザーアモルファスヘッドは、アモルファス磁性合金の優
れた磁気特性を、ソニーが誇る高度な加工技術で生かし
きた現在望み得る最良のヘッドといえます。K777ESII
では、その完成度をさらに向上させるためLC-OFC巻線
を採用。第一種無酸素銅（純度99.995%以上）の結晶
を巨大化し、結晶境界の数を減らしたLC-OFCは、容量
リアクタンスによるひずみ発生を激減させたもの。しかも、録

音ヘッド、再生ヘッドそれぞれに厳密なアジマス精度が得
られ、ヘッドタッチも均一な独立懸架3ヘッド方式の採用
で、デジタルソースのクオリティを余すところなく捉えます。

クローズドループ・デュアルキャプスタン&
クォーツロックD.D.のメカニズム精度をさらにアップ。

K777ESIIでは、動作制御用に新開発マイコンを搭載す
るなど、従来の走行メカニズムを細部にわたり改良。テー
プ走行の安定性・信頼性をさらに向上させました。この
高精度メカニズムの要となるのが、クローズドループ・デュ
アルキャプスタン方式。ヘッドを中心に2組のキャプスタン
とピンチローラーを配し、テープ走行を安定化させる巧み
なシステムです。そのメリットは、①リールから伝わる振動を
断ち、ワウ・フラッター特性が向上②テープ振動のスパ
ンが短くなり、モジュレーションノイズを可聴帯域外に追放
③一定のテープテンションが得られ、常に均一なヘッド
タッチを実現、など。しかも、キャプスタン駆動は、クォー
ツロックサーボのリニアトルクBSLモーターによるダイレクトド
ライブ。音響用モーターとしての優れた特性が相乗して、ワ
ウ・フラッター0.020%のすばらしいスペックを得ています。

堅牢な銅パタータイツシャーシと振動分散メカニズム。

基本シャーシにはオーディオ回路への磁気的な干渉を
防ぐ銅パタータイツ（銅メッキ処理）を採用。防振性も高い
構造としました。さらに、ダイキャスト製のヘッド基台や振動

を分散させるメカブロックにより、走行系への振動伝達が
激減。不要振動による音質劣化を徹底して抑えています。
新開発ドルビーICをはじめ、厳選パーツを贅沢に投入。
徹底したヒアリングで吟味した高品質デバイス、高品質
パーツを全面的に投入。例えば、新開発のドルビーIC
は、NR動作時の音質をきわめてナチュラルにし、“ドルビー
臭さ”を一掃したものです。また、信号系のLC-OFC線
材の多用など、細部まで音質最優先の姿勢を貫きました。

●テープの高性能化により厳密に対応するため、使用
テープごとに録音バイアス値を±20%の範囲で微調整
できるバイアスキャリブレーション機能、テープ感度による
録音・再生のレベル差をなくす録音レベルキャリブレーション
機能を装備。テープの性能を生かし、ドルビーNR
の効果をフルに発揮させることが可能。キャリブレーション
時には、レベルメーターが調整モードに切替わります。

●-40～+10dBを左右各30エレメントで表示。ピーク
ホールドも同時表示する多機能ピークプログラムメーター
●分秒単位（デジタル）表示のリニア電子カウンター
●カウンター連動メモリーストップ/プレイ●ドルビーNR・B-C
タイプ●別売タイマーによる連続留守録音/目覚まし再生
●別売RM-88（¥10,000）によるワイヤレスリモコン可能
●固定出力と可変出力の2系統のラインアウト端子を装備。
可変出力はヘッドホン出力と連動

ステレオ・カセットデッキ

TC-K777ESII

¥168,000

主な仕様 ●ヘッド：消去1、録音1、再生1 ●モーター：リニアトルクBSL D.D.モーター1、リニアトルクBSLモーター1 ●SN比：※57dB、61dB
（ドルビーOFF、ピークレベル、METALカセット）、74dB（ドルビーNR・Cタイプ） ●周波数特性：※15～19,000Hz±3dB（METALカセット） ●周
波数範囲：※10～20,000Hz（METALカセット） ●ワウ・フラッター：※±0.035%Wpeak、0.02%WRMS ●ひずみ率：※0.3%（METALカセット）
●大きさ：430（幅）×105（高さ）×390（奥行）mm ●重量：10.8kg ●消費電力：38W
※印は、日本電子機械工業会（JEIA）規格に定められた測定法による値です。

ESデッキの設計思想とノウハウを忠実に継承。
デジタル時代に向けて、上級機に迫るまでに音質を磨き抜いた
"ES"シリーズのスタンダード・デッキです。

ES



「デジタルソースを録る」という目的に照準を射たソニーのESシリーズ・デッキ。その設計思想を忠実に受け継ぎ、高度なテクノロジーをふんだんに盛り込んで誕生したのが、このK333ESです。基本性能の高さ、音質のすばらしさは、まさに上級機をおびやかすほど。高いコストパフォーマンスが光る"ES"シリーズのスタンダードモデルです。
LC-OFC巻線レーザーアモルファスヘッドを搭載した、独立懸架3ヘッド方式。
ソニーが誇るレーザーアモルファスヘッドは、アモルファス合金を精密加工してコア材に採用した、優れたSN比と周波数特性をもつ完成度の高いヘッドです。K333ESでは、その完成度をさらに高めるため、ヘッドの巻線にLC-OFCを採用。これは、純度99.995%以上の無酸素銅の結晶を巨大化して結晶境界の数を大幅に減らし、容量リアクタンスによるひずみの発生を激減させたものです。このLC-OFC巻線レーザーアモルファスヘッドの搭載に加え、録音ヘッドと再生ヘッドそれぞれに正確なアジマスが得られ、

ヘッドタッチも均一な独立懸架3ヘッド方式を採用して、すばらしい音質を実現。クオリティの高いデジタルソースなどの録音/再生で、その能力を確認していただけるでしょう。

安定したテープ走行を約束する

クローズドループ・デュアルキャブスタン方式。

オープンリールデッキで実績をつんだクローズドループ・デュアルキャブスタン方式。ヘッドを中心に配した2組のキャブスタンとピンチローラーでテープをはさみ込み、テープ走行を安定化させるシステムです。そのメリットは、①リールから伝わるテープ振動を断ち、ワウ・フラッター特性が向上②テープ振動のスパイクが短くなり、モジュレーションノイズを可聴帯域外に追放③一定のテープテンションが得られ、常に均一なヘッドタッチを実現、など。この巧みな方式が高精度な走行メカニズムの要になっています。

信号系のシンプル&ストレート化を徹底した

全段ツインモノ・コンストラクションのDCアンプ構成。

録音、再生アンプは左右対称設計の全段L・Rツインモノ

構造とし、チャンネル間の干渉を断っています。加えて、アンプ部を一枚基板にまとめ、線材の引き回しを可能な限り削減するなど、シンプル&ストレート伝送を徹底。さらに、配線材にはLC-OFCを使用するなど、音質重視設計を貫いたDCアンプ構成のオーディオ回路を採用しています。
●ドルビーNR・B-C回路を構成するICには、シンメトリプロセドルビーICを採用しました。これは、左右チャンネル用それぞれ互いにシンメトリな構造になるよう設計したICを、さらにワンパッケージ化。アンプ部をよりシンプルにまとめることができ、音質の向上をはかっています。

●使用頻度の高いTYPEI/IIの2ポジションで調整可能な±20%のバイアス微調整機能を装備。同一ポジションでも微妙に異なるテープの特性に応じて、テープモニターしながら好みのチューニングが可能です。また、L・R独立の録音レベルキャリブレーション機能も装備しています。

●分秒単位(デジタル)表示の減算機能つきリニア電子カウンター ●ピーク値と約2.4秒間のピークホールドを同時表示するダブルインジケーション方式ワイドレンジピークプログラムメーター ●オートプレイ、カウンター連動メモリーストップ/プレイ ●オートスペースつきREC MUTE ●MPXフィルタースイッチ ●軽快な操作フィーリングのフェザータッチオペレーション ●多機能集中ディスプレイ ●別売ユニットRM-80(¥18,000)によるワイヤレスリモコン可能 ●別売タイマーによる連続留守録音/目覚まし再生 ●出力可変ヘッドホン端子 ●金メッキ処理の入出力ジャック ●極性表示つき無酸素銅電源コード

ステレオ・カセットデッキ

TC-K333ES
¥79,800

主な仕様 ●ヘッド: 消去1、録音1、再生1 ●モーター: リニアトルクBSLモーター1、DCモーター1 ●SN比: ※56dB、60dB(ドルビーOFF、ピークレベル、METALカセット)、73dB(ドルビーNR-Cタイプ) ●周波数特性: ※20~19,000Hz±3dB(METALカセット) ●周波数範囲: ※20~20,000Hz(METALカセット) ●ワウ・フラッター: ※±0.06%(Wpeak)、0.04%(WRMS) ●ひずみ率: ※0.5%(METALカセット) ●大きさ: 430(幅)×105(高さ)×330(奥行)mm ●重量: 6.2kg ●消費電力: 26W ※印は、日本電子機械工業会(EIAJ)規格に定められた測定法による値です。

デジタルソースの完璧なまでの録音/再生をめざし、
細部にまで音質最優先の設計思想を貫いた
ESシリーズのロングセラー・モデルです。

ES



●LC-OFC巻線レーザーアモルファスヘッド搭載の独立懸架3ヘッド方式を採用。LC-OFCは容量リアクタンスによるひずみを極限まで少なくしたもので、優れたSN比と周波数特性をもつレーザーアモルファスヘッドの完成度を一段と向上させました。録音ヘッドと再生ヘッドそれぞれに正確なアジマスが得られ、ヘッドタッチも均一な独立懸架3ヘッド方式と相まって、デジタルソースのクオリティを生かした録音/再生が可能です。
●テープ走行メカニズムにクローズドループ・デュアルキャブ

ブスタン方式を導入。ヘッドを中心に配した2組のキャブスタンとピンチローラーでテープをはさみ込み、走行を安定化。ワウ・フラッター特性の向上、モジュレーションノイズの低減、安定したヘッドタッチの実現など、数々のメリットが得られ、高精度な走行特性を獲得しています。

●きわめてシンプルな構造のリニアトルクBSLモーターの回転軸をそのままキャブスタンとし、かつクォーツロックでサーボするダイレクトドライブ方式を採用。ワウ・フラッター0.025%のきわめて高い回転精度を実現しています。

●録音・再生アンプを全段ツインモノとしてL・Rチャンネル間の干渉を排除。信号の流れに沿ったコンストラクションで、前段・後段の干渉も極力抑えたDCアンプ構成を採用しています。また、アンプ部を一枚のOFC基板にまとめ、配線材の引き回しを大幅に削減。配線材にはLC-OFCを採用するなど、シンプル&ストレート伝送を徹底しました。

●音像定位を一段と向上させたL・R対称設計のシンメトリプロセドルビーICによるドルビーNR・B-Cタイプ ●TYPEIV(METAL)を除く3ポジションで±20%のバイアス微調整可能 ●減算機能つきリニア電子カウンター ●リアルタイムのピーク値とピークホールドを同時表示するダブルインジケーション方式ワイドレンジピークプログラムメーター ●オートプレイ、カウンター連動メモリーストップ/プレイ ●オートスペースつきREC MUTE ●MPXフィルタースイッチ ●別売タイマーにより連続留守録音/目覚まし再生可能 ●別売ユニットRM-80(¥18,000)によるワイヤレスリモコン可能 ●出力可変ヘッドホン端子 ●極性表示つき無酸素銅電源コード

ステレオ・カセットデッキ

TC-K555ESII
¥99,800

主な仕様 ●ヘッド: 消去1、録音1、再生1 ●モーター: リニアトルクBSL D.O.モーター1、DCモーター1 ●SN比: ※56dB、60dB(ドルビーOFF、ピークレベル、METALカセット)、73dB(ドルビーNR-Cタイプ) ●周波数特性: ※20~19,000Hz±3dB(METALカセット) ●周波数範囲: ※15~20,000Hz(METALカセット) ●ワウ・フラッター: ※±0.04%(Wpeak)、0.025%(WRMS) ●ひずみ率: ※0.5%(DUALカセット) ●大きさ: 430(幅)×105(高さ)×330(奥行)mm ●重量: 6.6kg ●消費電力: 28W ※印は、日本電子機械工業会(EIAJ)規格に定められた測定法による値です。

音質、機能、操作性でダブルデッキがここまで進化。 スーパーバイアス方式、ツイン・ドルビーシステムなど、 すべてに最高峰をめざしたツイン録再リバーズ機です。

リスニングスタイルに合わせて、自分だけのハイクオリティなカセットライブラリーをつくりたい。

WR950は、そんなテープエンジョイ派に、高度な基本性能と贅沢なほどの多彩な機能で応えるツイン録再リバーズデッキです。

LC-OFC巻線を採用したレーザーアモルファスヘッド、スーパーバイアス方式などによる音質重視設計。

そして、ツイン・ドルビーシステムや12キー・ダイレクト選曲RMS機能の搭載など、すべてにダブルデッキの最高峰をめざしました。

テープ編集に、リスニングに、すばらしいテープサウンドを、シンプルな操作で思いっきり使いこなせます。



倍速ダビング時にもドルビー変換ができる A・Bデッキ独立ツイン・ドルビーシステム。

WR950は、A・BデッキそれぞれにドルビーNRシステムを装備。Bタイプ、Cタイプ、そしてOFFの3ポジションで、両デッキ独立に設定できます。例えば、A・Bデッキ同時録音で、BタイプとCタイプの2種類のライブラリーを1度につくる。また、Cタイプ録音したテープを、ウォークマン・リスニング用にBタイプに変換してダビングするクロスドルビーNRダビングも可能。目的に合わせたNR録音が手軽に行えます。しかも、それぞれのドルビーNR回路には、ノーマルスピード時とハイスピード時用の2系統の回路を装備。倍速ダビング時にも、自由にドルビー変換が可能です。



ダビングのレベルを自在にコントロール できるDUBBING LEVELボリューム。

WR950は、ダビングレベルの調整も可能。例えば、高出力のメタルテープからノーマルテープへのダビング時には、レベルを抑え気味にしてひずみの発生を防ぐなど、テープの能力に合わせた調整ができます。また、ボリュームをだんだん上げていくフェード・イン、少しずつ下げていくフェード・アウトの操作も可能。もちろん、調整はノーマルスピード時、ハイスピード時いずれの場合にも行えます。

簡単操作で好きな曲だけリスニング&編集。 12キー・ダイレクト選曲16曲メモリ・RMS機能。

Aデッキには、カセット片面の収録曲12曲目までを最大16回好きな曲順でプログラムできるRMS(ランダム・ミュージック・センサー)機能を装備。選曲も、12キーでプログラム順に指定するだけの簡単操作。STARTキーをポンと押せば、次々と選曲→再生を自動的にくり返します。もちろん、プログラム曲の倍速ダビングもでき、オリジナル編集のライブラリーが素早くつくれます。また、RMSスタート後のプログラム追加も可能です。

RMS再生状況がすぐわかるRMSディスプレイ。

ディスプレイ切替えキー、または12キーを押すと、ピークレベルメーター部分がRMSディスプレイに変化。プログラム曲と選曲/再生中の曲を独立表示し、RMS再生の進行状況がひと目でわかります。さらに、チェックキーでプログラム曲順の確認も可能。また、RMSダビング中などには、メーター表示に戻しダビングレベルの確認もできます。



A・B両デッキの操作ができるワイヤレスリモコン。

WR950には、スイッチ切替えてA・Bデッキどちらにも操作できるワイヤレスリモコンRM-950が付属。録音、再生、早送り、巻戻しなどのテープ走行指令に加え、リニア電子カウンターのリセット、メモリー、A/B切替えも可能。リスニングポジションから2つのデッキを自在に操れます。

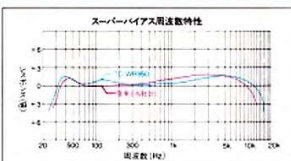
A・Bデッキ独立カウントの リニア電子カウンター。

テープ走行量を分秒単位(デジタル)で表示するリニア電子カウンター。WR950では、A・Bデッキそれぞれのテープ走行量を独立カウント。A/B切替えて各デッキおよびその走行量を表示します。もちろん、表示していない間もカウントは続行。同時録音やダビング時にも、それぞれのデッキのテープ走行量をすぐ確認できます。また、テープ残量を直読できる減算機能も装備しています。



ハイスピード時の音質を大きく向上させるスーパーバイアス方式。

テープスピードを2倍にすると、音楽信号の周波数も2倍、15kHzの信号は30kHzになります。このため、従来のハイスピード・ダビングでは、周波数の高い音楽信号の高調波成分が、バイアス電流の周波数(105kHz)に近づきビート発生を招くため、高域の周波数特性を抑えていました。そこで、WR950では、バイアス周波数を従来の2倍、210kHzに設定した「スーパーバイアス」方式を採用。倍速時にもビート発生が大幅に減少し、高域まで素直に伸びた周波数特性と広いダイナミックレンジが得られ、オリジナルテープのクオリティを生かした高音質のダビングが可能です。



LC-OFC巻線により音質を高めたレーザーアモルファス録再ヘッド。



A・Bデッキそれぞれの録再ヘッドには、コア材に優れた磁気特性をもつアモルファス合金を使用し、さらにヘッド巻線にはLC-OFCを採用して音質を一段と磨き上げました。LC-OFCは、純度99.995%以上の無酸素銅の結晶を巨大化して、容量リアクタンスによるひずみを激減させたもの。すばらしいSN比と周波数特性で、デジタルソースの高いクオリティも鮮やかに捉えます。

ツインREC・倍速リバーズ・ツインカセットデッキ

TC-WR950

¥95,000 (ワイヤレスリモコン RM-950付属) **新製品**

主な仕様 ●ヘッド：消去2、録再2 ●モーター：DCサーボモーター2、DCモーター2 ●SN比：※56dB、59dB (ドルビーOFF、ピークレベル、METAL-Sカセット) ●72dB (ドルビーNR-Cタイプ) ●周波数特性：※30~17,000Hz±3dB (METAL-Sカセット) ●周波数範囲：※20~18,000Hz (METAL-Sカセット) ●フワフラッター：※±0.07%Wpeak、0.05WRMS ●ひずみ率：※0.5% (METAL-Sカセット) ●大きさ：430(幅)×135(高さ)×285(奥行)mm ●重量：5.9kg ●消費電力：27W ●印は、日本電子機械工業会(EIAJ)規格に定められた測定法による値です。

テープ編集をさらに簡単にする便利機能。

HIGH/NORMALの2スピードダビング：ノーマルスピード(定速)に加え、ハイスピード(倍速)でのシンクロダビングが可能。AデッキからBデッキへ、オリジナルカセットの録音内容をスピーディにダビングできます。また、ノーマルスピード時には、オートポーズ機能などをフルに使ったテープ編集が行えます。**選曲しながらのダビングに便利なオートポーズ機能**：ノーマルスピードでのダビング時にAUTO PAUSEキーをONにすると、Aデッキは1曲終了ごとにストップ、Bデッキは録音ポーズ状態に。Aデッキで次の曲の選曲後、Bデッキのポーズ解除で再びダビングを始め、選曲→ダビングのくり返しが行えます。**AMS/ブランクスキップ機能**：再生中に約10秒以上の無信号部分があると自動的に早送り、次の曲の頭から再生を始めるブランクスキップ機能。ノーマルスピードでのダビング時には、再生側の10秒以上の無信号部分を録音側デッキが自動的に巻戻し約5秒間に短縮、曲間のそろったテープがつくれます。また、AMS(オートマッチ・ミュージック・センサー)機能で、再生中の曲や次の曲の頭出しも簡単です。

ツイン録再リバーズ機ならではの長時間録音/再生。

WR950は、A・Bデッキでの同時録音に加え、3ポジションのディレクションモード・スイッチの切替で、さまざまな録音/再生が可能です。まず、**二モード**では、片面だけの録音/再生。次に、**二モード**では、両面にわたる録音、または1巻のみのサイクル再生が可能。さらにRELAYモードでは、Aデッキでテープ両面の録音後、リレー動作でBデッキが両面録音。テープ2巻を使った3時間(C90テープ×2)もの長時間連続録音が行えます。また再生時には、Aデッキの両面再生→Bデッキの両面再生をくり返し、BGMなどの長時間リスニングに最適です。

●テープ走行状態を、オレンジ(STOP、FF、REW.)、グリーン(PLAY)、レッド(REC)の3色で表示するトリプルカラー・ディレクションインジケータ ●赤外線センサーによるクイックリバーズ機能 ●リアルタイムのピーク値とピークホールドを同時表示。12セグメント×2chのダブルインジケーション方式FLピークレベルメーター ●TYPE I/II/IVのオートテープセレクター ●オートプレイ、カウンター運動メモリーストップ/プレイ ●オートスペースつきREC MUTE ●別売タイマーによる留守録音/目覚まし再生(同時録音、リレー録音/再生も可能) ●出力可変ヘッドホン端子

テープ編集に、長時間リスニングに、 便利な機能を多彩に装備した テープエンジョイ派のための ハイクラスなダブルリバーズデッキです。



WR730は、テープエンジョイ派のためのダブルリバーズデッキ。倍速ダビングでテープ編集、そして長時間リスニングと、ダブルデッキならではの豊富な機能を、8ビットマイコン制御のシンプルかつ軽快な操作性で楽しめます。

テープ編集のための豊富で便利な機能群。

HIGH/NORMALの2スピードダビング：WR730には、*HIGH SPEEDのダビング機能も搭載。AデッキからBデッキへ、オリジナルカセットの録音内容をきわめてスピーディにダビングできます。

オートポーズ機能：ノーマルスピードでのダビング時にAUTO PAUSEスイッチをONにしておくと、Aデッキは1曲の再生終了ごとにストップ、Bデッキは録音ポーズ状態で待機。ポーズ解除で再びダビングに移り、選曲しながらのテープ編集がより簡単な操作で行えます。

AMS/ブランクスキップ機能：再生中に約10秒以上の無信号部分があると自動的に早送りをして、次の曲の頭から再生を始めるのがブランクスキップ機能。ノーマルスピードでのダビング時にスイッチONにしておけば、オリジナルテープにある10秒をこえる無信号部分を自動的に5秒間に短縮、曲間のそろったダビングテープがつくれます。また、再生中の曲や次の曲の頭出しが素早くできるAMS機能も

装備し、選曲がスピーディに行えます。

●片面だけの録音/再生(二)、両面1サイクル録音/再生(二)、両面1サイクル録音/連続サイクル再生(二)の3モードが選べます。また、二モードでは、A・Bデッキのリレー動作による連続リレー再生も可能 ●クイックリバーズ機能(Bデッキ) ●ドルビーNR-B-Cタイプ ●オートテープセレクター(Aデッキ)、マニュアルテープセレクター(Bデッキ) ●オートスペースつき REC MUTE ●12セグメント×2chのLCD(液晶)ピークレベルメーター ●別売ユニットRM-88(¥10,000)によるワイヤレスリモコン可能(Bデッキ) ●別売タイマーによる留守録音/目覚まし再生 ●ヘッドホン端子 ●ソニーのプレーヤー、CDプレーヤーとのシンクロプレイ可能(Bデッキ)

倍速リバーズ・ツインカセットデッキ

TC-WR730

¥59,800

主な仕様 ●ヘッド：再生1(Aデッキ)、消去1、録再1(Bデッキ) ●モーター：DCサーボモーター2、DCモーター2 ●SN比：※56dB、58dB (ドルビーOFF、ピークレベル、METALカセット) ●71dB (ドルビーNR-Cタイプ) ●周波数特性：※30~15,000Hz±3dB (METALカセット) ●※周波数範囲：20~16,000Hz (METALカセット) ●フワフラッター：※±0.1% Wpeak、0.07%WRMS ●ひずみ率：※0.5% (METALカセット) ●大きさ：430(幅)×130(高さ)×275(奥行)mm ●重量：5.2kg ●消費電力：22W ●印は、日本電子機械工業会(EIAJ)規格に定められた測定法による値です。

「A」「B」デッキ同時録音、連続録音が可能。 倍速時の音質重視を徹底し、音に機能に贅沢なほどの クオリティをもつ録再ダブルリバーズデッキです。



WR930は、「A」「B」同時録音をはじめ、両デッキのリレー動作による長時間録音、そして15時間のロングプレイ(C-90テープ使用)など、多彩な機能を搭載した録再ダブルリバーズデッキ。また、ソニー独自のスーパーバイアス方式の採用で、倍速ダビング時の周波数特性を大幅に改善するなど、音質重視の姿勢を徹底しました。テープ編集から長時間リスニングまで、ハイレベルな基本性能と使いやすさで応えます。

ツインREC・倍速リバーズ・ツインカセットデッキ

TC-WR930

¥89,800

主な仕様 ●ヘッド：消去2、録再2 ●モーター：DCサーボモーター2、DCモーター2 ●SN比：※56dB、59dB (ドルビーOFF、ピークレベル、METAL-Sカセット) ●72dB (ドルビーNR-Cタイプ) ●周波数特性：※30~17,000Hz±3dB (METAL-Sカセット) ●周波数範囲：※20~18,000Hz (METAL-Sカセット) ●フワフラッター：※±0.065%Wpeak、0.045%WRMS ●ひずみ率：※0.5% (METAL-Sカセット) ●大きさ：430(幅)×130(高さ)×285(奥行)mm ●重量：6.4kg ●消費電力：34W ●印は、日本電子機械工業会(EIAJ)規格に定められた測定法による値です。

録音レベルキャリブレーション機能、ドルビーHXP搭載。
 “ES”シリーズの設計思想を継承して、
 音質重視の姿勢を貫いた録再オートリバースデッキです。



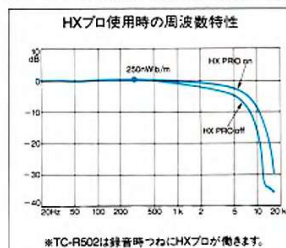
“ES”シリーズの音質重視設計を継承し、さらに長時間録音/再生を可能にする。TC-R502は、このテーマから誕生した録再オートリバース機。テープの能力をフルに引き出せる録音レベルキャリブレーション機能やドルビーHXPの搭載など、音質に、機能に、デジタルソースに対応する高い完成度を誇ります。

正確なテープ録音感度調整が簡単にできる録音レベルキャリブレーション機能。2ヘッド機でありながら、簡単な操作でシビアな録音感度調整が行えます。まず、REC CALボタンを押すとレベルメーターのスケールが拡大。次にRECボタンを押すと、内蔵オシレーターからの基準レベル信号を約10秒間録音し、録音開始位置まで巻戻し、約10秒間の再生→巻戻し。この一連の動作を自動的に引き

ます。この約10秒間の再生中に、L・RそれぞれのRECCALボリュームでレベルメーターの位置に再生レベルを合わせれば調整完了。使用テープの性能をフルに発揮させ、ドルビーNRの効果を最大限に生かしたハイクオリティな録音/再生が可能です。

録音能力を一段と向上させ、分解能の高い再生音を生むドルビーHXP。カセットデッキではひずみの少ない録音をするため、「バイアス」というテープの感度に応じた一定量の電流を音楽信号に加えて録音しています。しかし、シンバルのアタック音など高い周波数の音楽信号は、それ自身がバイアス作用をもつため、高域がひずみやすいバイアス過

状態を引き起こしていました。そこで、ドルビーHXPは、専用ICで音楽信号を1/1000秒単位で解析・制御し、実効的なバイアス量を常に最適な状態に維持



します。これにより、高域のMOL特性を大幅に改善。急峻に立ち上がる高域の信号もクリアに録音でき、さらにドルビーNRとの組合せで音の定位感、解像力を一段と向上させます。

ドルビーNR・B-Cタイプの搭載をはじめ、
 音質に、機能に高いコストパフォーマンスを追求した
 シンプル操作の録再オートリバースデッキです。



TC-R302は、ソニー最新のデッキ技術を投入したコストパフォーマンスの高い録再オートリバースデッキ。デジタルソースに対応するハイレベルな基本性能をベースに、豊富な機能を使いやすくと、シンプ

ルな操作性を追求しました。また、コンボサイズで風格を感じさせるデザインも魅力。テープミュージックを、いい音で、とても気軽に楽しめます。

●片面だけの録音/再生(二)、両面に

わたる録音とBGMリスニングに便利な両面連続再生(二)の2モードが選べる録再オートリバース機能●ドルビーNR・B-Cタイプ搭載●再生ポーズ状態で早送り、早戻しをすると録音内容を素早く確認できるCUE & REVIEW機能●FMエアチェック時などに、曲間の長さをそろえた録音が簡単にできるオートスペースつきREC MUTE●巻戻し完了後、自動的に再生を始めるオートプレイ機能●見やすい12セグメント×2chのLCD(液晶)ピークレベルメーター●テープ走行状態がひと目でわかるテープオーバーレション・インジケーター●フェーザータッチオーバーレション●別売ユニットRM-88(¥10,000)によりワイヤレスリモコン可能●ライン/マイク自動切

LC-OFC巻線を採用して、さらに音質を磨いたレーザーアモルファス録再ヘッド。

コア材に優れた磁気特性をもつアモルファス合金を、さらにコイル巻線には、純度99.995%以上の無酸素銅の結晶を巨大化し容量リアクタンスによるひずみを激減させたLC-OFCを採用。優れたSN比と周波数特性で、デジタルソースのクオリティを生かしきります。

●ドルビーNR・B-Cタイプ●クイックオートリバース機能●AMS、ブランクスキップ、ミュージックスキャン●オートプレイ、カウンター運動メモリーストップ/プレイ●減算機能つきリニア電子カウンター●ピークホールドつきワイドレンジ・ピークプログラムメーター●多機能集中ディスプレイ●別売ユニットRM-88(¥10,000)によるワイヤレスリモコン可能●別売タイマーによる留守録音/目覚まし再生●出力可変ヘッドホン端子●ソニーのプレーヤー、CDプレーヤーとのシンクロプレイ可能

録再オートリバース・ステレオ・カセットデッキ

TC-R502
 ¥69,800

主な仕様 ●ヘッド: 消去1、録再1 ●モーター: DCサーボモーター1、DCモーター1 ●SN比: ※56dB、59dB(ドルビーOFF、ピークレベル、METALカセット)、72dB(ドルビーNR-Cタイプ) ●周波数特性: ※30~17,000Hz±3dB(METALカセット) ●周波数範囲: ※20~18,000Hz(METALカセット) ●フワ・フラッター: ※±0.07%Wpeak、0.05%WRMS ●ひずみ率: ※0.5%(METALカセット) ●大きさ: 430(幅)×105(高さ)×285(奥行)mm ●重さ: 4.7kg ●消費電力: 17W ●印は、日本電子機械工業会(EIAJ)規格に定められた測定法による値です。

替え機構つきマイク入力端子●別売タイマーによる留守録音/目覚まし再生●ヘッドホン端子●ソニーのプレーヤー、CDプレーヤーとのシンクロプレイ可能

録再オートリバース・ステレオ・カセットデッキ

TC-R302
 ¥39,800

主な仕様 ●ヘッド: 消去1、録再1 ●モーター: DCサーボモーター1、DCモーター1 ●SN比: ※56dB、58dB(ドルビーOFF、ピークレベル、METALカセット)、71dB(ドルビーNR-Cタイプ) ●周波数特性: ※30~15,000Hz±3dB(METALカセット) ●周波数範囲: ※20~16,000Hz(METALカセット) ●フワ・フラッター: ※±0.1%Wpeak、0.07%WRMS ●ひずみ率: ※0.5%(METALカセット) ●大きさ: 430(幅)×105(高さ)×255(奥行)mm ●重さ: 3.9kg ●消費電力: 17W ●印は、日本電子機械工業会(EIAJ)規格に定められた測定法による値です。

●倍速ダビング機能つきダブルデッキをテレビと並べて置いた場合、テレビを見ながらの倍速テープ編集(録音)はできません。

●あなたがラジオ放送やレコード、録音物などから録音したものは個人として楽しむなどの場合は著作権法上、権利者に無断では使用できません。●仕様および外観は改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。●カタログ掲載製品のなかには品薄・品切になるものもありますので販売店にてお確かめの上お選びください。●カタログと実際の製品の色とは印刷の関係で多少異なる場合もあります。●ドルビーとDQマークは、ドルビー研究所の登録商標です。

●この商品には保証書がついています。お求めの販売店で所定事項を記入した保証書を必ずお受けとってください。

●テープレコーダーの補修用性能部品の最低保有期間は製造切取り後6年です。

ソニー株式会社
 ショールーム
 〒141 東京都品川区北品川6-7-35
 東京/銀座数寄屋橋ソニービル
 大阪/南区心斎橋筋ソニータワー
 お客様相談センター
 東京/(03)448-3311
 大阪/(06)251-5111
 名古屋/(052)232-2611

このカタログの内容について、詳しくお知りになりたい方は、お近くのソニー商品販売店におたずねになるか、当社のお客様相談センターにお問合せください。

ソニー商品販売店

'86.10

カタログの記載内容: 1986年10月現在

